

会議録

会議の名称	令和7年度第2回ふじみ野市資料館運営協議会会議			
開催日時	令和7年9月19日(金) 開会時刻 午後3時30分 閉会時刻 午後5時00分			
開催場所	ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館 研修室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	三上 栄一	事務局	井上 樹朗
	副委員長	比嘉 洋子	事務局	田中 桃子
	委員	宮下 宏樹	事務局	高崎 直成
	委員	原口 雅樹	事務局	横山 真一
	委員	中里 美子	事務局	狩野 紗良
会議の議題	(1) 博物館の運営について (2) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開 ・ 非公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	1人			
発言の内容	別紙のとおり			
会議資料	別紙のとおり			
事務局	教育部社会教育課上福岡歴史民俗資料館			
議事の確定	確定年月日	令和7年12月9日		
	記名押印	役職名 委員長 三上 栄一 ㊟		

別紙

発 言 の 要 旨

発言者	発言の要旨
事務局 (井上)	開会の挨拶 欠席委員の報告 配布資料の確認
三上委員長	開会の宣言 それでは、議題（１）博物館の運営について、事務局に説明を 求める。
事務局 (田中・高 崎)	資料１に基づき説明。
三上委員長	質問・意見等はあるか。 「川の道」という表現があまり聞きなれない表現のため、字を変 えるなどした方が分かりやすくなるのではないかと思うが、どう か。
事務局 (田中)	確かに道路の「道」を使うとニュアンスが変わってしまうこと はあり得る。「陸の道」と対になるテーマで、川と共に暮らして きた人々の生きてきた道ということを伝えたいと思っているの で、例えば「道」をひらがなで記載して、柔らかい印象にするの はいかがか。
中里委員	委員長のご意見を聞いてなるほどと思ったが、新河岸川の舟運 のことを説明すれば「川の道」ということでも違和感がないので はないかと感じる。
宮下委員	漢字の「道」だとやはり道路の「道」が連想されるので、ひら がなの方が柔らかいと感じる。
原口委員	大井郷土資料館の展示に関わっていたため若干ご意見を述べさ せていただくと、展示テーマは道にしていたが、漢字の道は使わ なかった。漢字にすると、やはり道路の「道」に引きずられてし まうので、幅広い解釈ができるようにした。 「道」という言葉は新たな博物館の展示テーマとして大事だと思 うので、「道」という言葉は使う方向で進め、幅広く含みを持た せるという意味では、仮名遣いの方が良いと考える。

三上委員長	<p>では、「道」という言葉はひらがなを使用する、ということで意見をまとめたいと思う。</p>
事務局 (田中)	<p>頂いたご意見も踏まえ、ひらがなの「道」とすることについて、内部でも相談してみたいと思う。</p>
原口委員	<p>展示テーマの話とも関連するかと思うが、運営方針の中に日常的展示替えと計画的展示替えという文言が記載されている。展示替えをすることは悪いことではないが、テーマを設けた常設展示室を作る以上、テーマを説明するに足る資料の蓄積が必要であるし、学芸員の負担も考えると、可能な事なのかどうかよく検討すべきである。また、資料保存の観点から、模造品を使用しながらの展示替え、ということであれば理由として最もだと思うが、展示資料の移動は棄損の危険性もあり、展示替えにもそれだけ資料に対するダメージを与える機会が多くなる、という事を踏まえることも必要である。そのため、案に記載するのであれば、実施が可能であることを確実にしておかないといけない。</p> <p>また、3つ目に文化財収集を視野に入れた展示替えについて、どこの博物館も収集のための基準を設けている。収集方針としては、ふじみ野市に係る文化財という観点が出てくるだろうと思うが、限定的にしてしまうと、収集に限界がきてしまう。さらに、絵画や彫刻、といった事を含める場合、これらの資料は購入という方法で収集することになる。購入の費用は当然税金で賄われるものであるから、購入委員会といった組織を設け、審議したうえで購入するようになるため、購入による収集の場合についても、きちんと基準を定めておく必要がある。</p>
事務局 (田中)	<p>博物館に求めることとして実物を見たい、という意見もいただいております。また、資料を収蔵庫に入れたままにせず、なるべく出す機会も設けて、少しずつ展示替えを行っていきたいと考えている。</p> <p>ただ、確かに、日常的展示替えというのは、資料的にもリスクが高い印象があるので、頂いたご意見を十分に考慮し、精査していききたい。</p>
中里委員	<p>機織り部会のほうでは、先日幼稚園児に昔の糸車を実際に触らせて体験してもらった。子どもに限らず、やはり実際に昔のものを触ってみたいと思っている方は多いと思うので、展示室に実際に触っても良いものを置くのも良いのではないかと思います。</p>
事務局 (田中)	<p>実物を触ることができる展示、というのも考慮して考えていききたいと思う。</p>

	<p>その他質問・意見等が無ければ、次に、博物館協議会の構成員案について話を移そうと思う。</p>
事務局 (田中)	<p>資料1に基づき説明。</p> <p>1点、学校教育関係者に関連して、地域を学ぶ授業を専門にされている先生がいらっしゃるからお聞きしている。このような授業を実施している先生の意見を取り入れるために、委員としてお願いするのも良いのではないかと考えているのだが、この点について宮下委員にお聞きしたい。</p>
宮下委員	<p>専門的な先生というのはいないが、地域を学ぶという授業、いわゆる総合的な学習は昔からあり、学校ごとの特色ある教育ということで、各学校でテーマを決めて授業を実施している。小学校3年生は総合的な学習における昔のくらしという単元のなかで、資料館を活用し、体験させていただいている。</p> <p>博物館から近い学校であれば、徒歩で移動できるため授業として活用しやすいが、遠い学校だとやはりバス等移動手段を用意していただくか、出前授業として実施していただくようになると思う。やはり身近なところから学習に博物館を活用してもらい、それを手掛かりに始めた方が広げやすいのではないかなと思う。</p>
事務局 (田中)	<p>バスの予算は要求する予定であるため、頂いたご意見を踏まえ、検討を進めていきたいと思う。</p>
三上委員長	<p>そもそも委員が委員を決めてよいのか。</p>
事務局 (田中)	<p>今回は、あくまでどういった団体に委員をお願いできそうか、情報やご意見を頂きたいと思っているため、ここで決めるということではない。</p>
宮下委員	<p>他館の事例を見ると、幼稚園も委員として関わっている例が見られる。現時点では小中学校が中心になっているため、その下の小さな子ども達と接している代表のような方に、委員としてきていただくのも良いのではないかと考える。</p> <p>また、博物館の近くには文京学院大学があり、この大学には幼稚園や学校の先生を志望する学生も多い。このような大学生が入り出すと、違った変化が生まれるのではないかなと思うので、その代表の方に依頼すると、大学生とも関わりを持つことができるのではないかなと思う。</p>
中里委員	<p>結構大学生が河岸記念館にきているところを見かけるため、歴史に関心のある大学生もいると思うため、大学生との関わりを持</p>

事務局 (田中)	<p>つのは良いことだと思う。</p> <p>現在、家庭教育の向上に資する活動をされている団体というと、PTA連合会と学童保育しかないが、PTAだと他の団体の委員もされている方が多く、大変だと聞いている。他の団体だどのような団体の方が入るといいか。</p>
三上委員長	<p>青年会議所はどうか。この団体だと、家庭教育に資する活動をしている方もいると聞く。</p>
事務局 (田中)	<p>以前環境に関するイベントにおいて、青年会議所の方々に携わっていただいたことがあり、子どもたち向けの内容を実施して頂いた。他に子どもたちに関係する仕事をやっているのかどうか、青年会議所の方々に話を聞いてみたいと思う。</p>
三上委員長	<p>開館時間と休館日の件は話を進めなくて良いのか。</p>
事務局 (田中)	<p>前回会議で皆様にご意見を頂いたものをまとめ、今後文化財保護審議委員と社会教育委員にも諮る予定である。</p> <p>休館日については、月曜日休館で、祝日の場合は翌平日を振替休館日とする案になったと認識している。開館時間については、中高生の勉強スペースのニーズを踏まえ、検討していきたい。</p> <p>最終決定は第3回会議を予定している。</p>
三上委員長	<p>単に他施設に合わせるのではなく、博物館施設としての役割を踏まえたうえで検討を進めていただきたい。</p> <p>その他質問・意見等なければ、比嘉副委員長から閉会の言葉をお願いします。</p>
比嘉副委員長	<p>これで、令和7年度2回ふじみ野市資料館運営協議会を終了する。</p>